



夏野菜カレー



祝い膳

平成22年度からの分娩再開にあわせて、栄養管理科手作りのメッセージカード添えて祝い膳を実施しています。

医療局栄養管理科では、家庭の味に近いものを目指し、そしてさらに、食べることが治療につながればという思いで取り組んでいます。地域の特性と手作りの心を大切に、行事食にも四季折々の季節を感じるメニューや郷土食をとりいれるようにしています。

県立病院基本理念

県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

目次

- 医療局栄養管理科 1
- 県立海部病院 医師紹介 2
- 医療スタッフ募集 2
- 認知症外来始めました 3
- 最近の認知症について 3
- MRI装置が新しくなりました 4



高橋 幸志 医長(内科)

外来担当日：火曜日・木曜日・金曜日

コメント：特に消化器疾患を中心に診療に励みたいと思います。よろしくお願いいたします。

小幡 史明 医師(総合診療科(内科))

外来担当日：水曜日

コメント：毎日、カリスマ目指して、仕事、研修医教育、育児、妻への気配りを日々頑張っている小幡です。僕を見かけたら、気軽に声をかけて下さいね☆

湯浅 志乃 医師(総合診療科(内科))

外来担当日：火曜日

コメント：徳島大学総合診療の湯浅です。3月までは、徳島県立中央病院の呼吸器内科で診療していました。呼吸器疾患を中心に、海部病院でも幅広く診療していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

川村 晴水 医師(消化器内科)

診療担当日：木曜日、金曜日

コメント：毎週木、金曜日に消化器内視鏡検査、超音波検査などを中心に診療に当たらせていただいております。この春に徳島に来たばかりで、わからないことが多いですが、出来る限り患者様の力になれるよう尽力させていただきます。

中山聡一郎 医師(産婦人科)

外来担当日：火曜日

コメント：4月から週に1回、産婦人科に勤務することになりました。妊婦さんをはじめ、地域の方々のお役に少しでもたてればと思っています。よろしくお願いいたします。

谷 杏奈 医師(産婦人科)

外来担当日：木曜日

コメント：毎週木曜日の診察を担当することになりました。これを機会に、早起きの習慣を身につけたいと思います。よろしくお願いいたします。

医療スタッフ募集

当院では、より安心安全で質の高い医療・看護が行えるよう、医療従事者の拡充に努めております。地域医療の中核を担う海部病院の医療スタッフとしてぜひご参加ください。詳しくは事務局までご連絡ください。

■募集職種：臨時職員(看護師、准看護師、薬剤師)

※いずれも1名から若干名。

※勤務日数、勤務時間については相談に応じます。(短時間勤務も可)

■給与：経験に応じて支給。期間に応じて期末手当あり。

■採用時期：随時

■連絡先：事務局総務課総務担当 TEL:0884-72-1166(代表)



認知症外来始めました

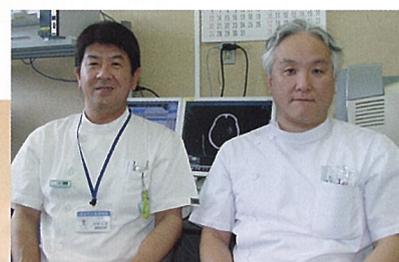
本年度5月より認知症の早期発見、早期治療に努め、患者のQOL(生活の質)の向上をめざす目的で認知症外来が新設されました。

【担当・診察日】→ 月曜日に岡医師、水曜日に影治医師と河野医師、木曜日は河野医師が午後13時30分からと、14時30分から行っており完全予約制の2名までとなっております。他に脳外科外来看護師・作業療法士・言語聴覚士が連携した取り組みで対応させて頂いております。

【受診する上での注意点】→ 認知症外来を受診されるには脳神経外科外来で予約を行っていますが、どなたでも予約する事はできませんのでご注意ください。当院や他の病院で既に『認知症』と疾患名を有している方、内服薬のアリセプトやメマリー・リバスタッチ等の脳卒中治療薬・抗認知症治療薬を処方されている方は診察適応とはなりませんのでご了承ください。

【診察の流れ】→ ①医師による診察、次に②MRI(磁気共鳴画像造影)を行い、③長谷川式簡易知能評価スケール(記憶力・記銘力・見当識障害の状態を判断する方法)を行った上で④再度診察をし⑤投薬を行い⑥次回の予約を行います。

認知症を早期に発見し、治療に結びつけましょう。



外来担当 河野(左)、岡(右)

最近の認知症について

認知症外来医師 河野光宏

昔は痴呆といわれ加齢とともに起こる老化現象の一つとして、治療せずに見守ることが多かった病気ですが、最近は症状をやわらげたり、進行を遅らせるような「薬」による治療が多くなってきました。またいわゆる「脳トレ」など脳の活性化をはかったり、デイサービスなどで体を動かせてリハビリを行うことが主になってきています。

■認知症の種類

- ①アルツハイマー型認知症：「物忘れ」で始まることが多く、最初は小刻み歩行などの運動障害はなく、迷子になったり徘徊する方もよくいらっしゃいます。物をどこに置いたか忘れてしまい誰かに盗られたと言う「物盗られ妄想」もよく見られます。人格や性格が変化して家族に迷惑をかけたり、重度になると身動きせず言葉も言わなくなり寝たきりの状態になる方もいらっしゃいます。
- ②脳血管性認知症：脳梗塞や脳出血などの脳卒中が原因です。なかでも特徴的なのは今まで脳卒中と言われたことがなく、麻痺などの症状も出たことがないのに、次第に「無口」になり足が出にくくなり、認知症状がでることです。これは動脈硬化により血管が狭くなり、ごく小さい脳梗塞があちこちに多発(多発性微小ラクナ梗塞)するのが原因です。小刻み歩行などの「歩行障害」を伴うことも多い認知症です。
- ③レビー小体認知症：童謡などの音楽やお経など人の話し声が聞こえる「幻聴」がみられるタイプと、いないはずの親類・友人や犬・猫・虫などが見えたりする「幻視」が主にみられるタイプがあります。いずれも徐々に物忘れなどの認知症状や歩行障害もよく伴います。そのほかに前頭側頭葉型認知症などがあります。

や血流をよくする薬などがあります。錠剤や貼り薬のほかゼリー状で飲みこみやすい薬や漢方薬などがあります。体操や散歩など体を動かすことにより脳の活性化をはかるリハビリ療法もあります。

■外来診察

月・水・木曜日の午後に予約していただいたうえ、脳神経外科の岡博文先生と影治照喜先生、内科・リハビリ科の河野が診察しています。初診では本人とご家族からいつからどのような症状が見られたかなどの問診を行い、作業療法士・言語聴覚士による簡単な記憶テストをしていただいたり、必要であれば頭部のCTやMRIを撮影し診断と治療法を決めていきます。



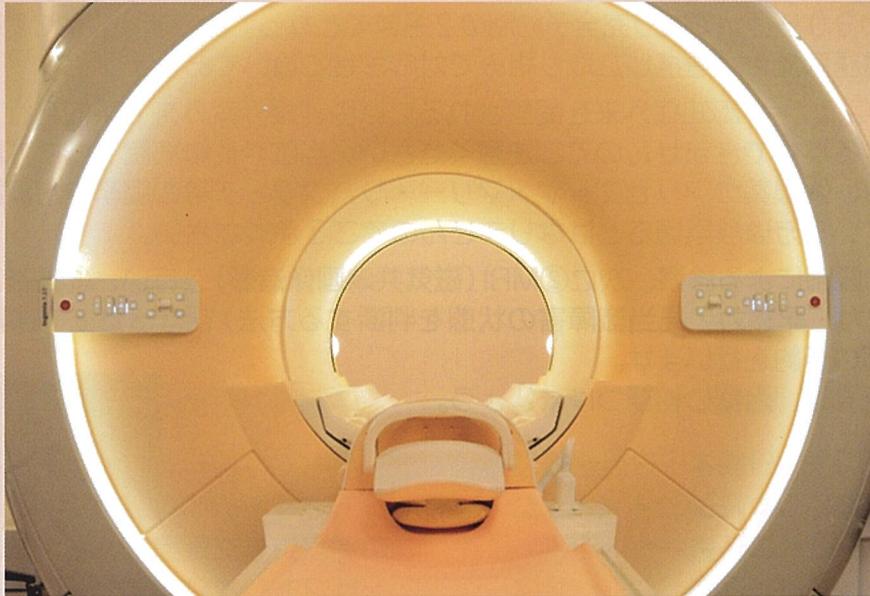
認知症の講演をする筆者

■治療

認知症のタイプによって、脳の活動を活性化させる薬

MRI装置が新しくなりました

平成24年3月末より新しいMRI装置が稼働しています。MRI検査は放射線の被曝がなく、安心して受けていただける検査となっています。



ライトアップされた美しい外観 Ingenia 1.5T (Philips)

1. 検査空間の拡大

検査時の圧迫感が軽減され、今まで仰向けでしか撮影出来なかった検査も患者様の楽な体位で検査可能となりました。※一部制限があります。

2. 高画質化

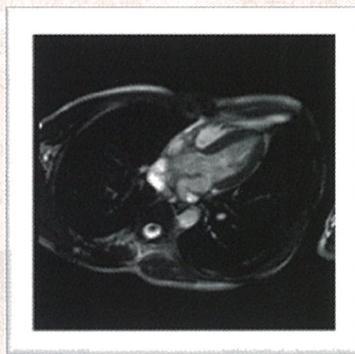
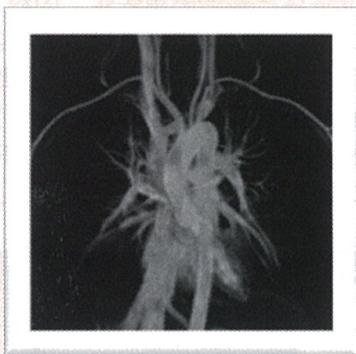
信号がデジタル化されて高画質が実現しました。撮影時間も短縮しています。(約20分)
※検査により若干異なります。

3. 造影剤を使用しない血管撮影が充実

装置の性能UP↑により、造影剤の使用が困難な患者様でも、ほとんどの部位で血管撮影が可能となりました。

4. 新システムの搭載

「心臓や横隔膜の動きに同期させた撮影」、「テーブルを移動させた全身撮影」、「3次元撮影」などにも対応しています。



発行日：平成24年8月10日

発行：徳島県立海部病院広報委員会 〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1

TEL：0884-72-1166 FAX：0884-72-3521

HP：http://www.tph.gr.jp/_kaifu/1%20top%20page/index.html